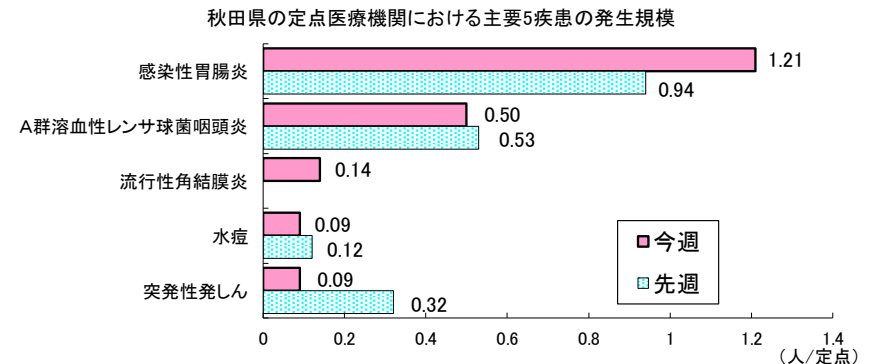




【第44週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、大仙、湯沢で増加、秋田中央、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で6%減少しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘で増加、大仙で同規模、大館、横手で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で増加しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で増加しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県 (人/定点)																																
	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減						
RSウイルス感染症	0.09	0.03	↘							0.50		↘							0.25	↗	0.25		↘				0.33		↘				
インフルエンザ																																	
咽頭結膜熱	0.06	0.03	↘																0.25		↘				0.25	↗					0.33		↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.50	↘	0.14	0.29	↗	2.00	1.50	↘							0.75	1.00	↗	0.25	0.75	↗	0.50	0.50		1.00		↘						
感染性胃腸炎	0.94	1.21	↗	1.00	1.14	↗	2.75	3.50	↗	0.50	1.50	↗	1.67	2.00	↗	1.25	0.75	↘							1.00	↗	0.33		↘	0.67	1.00	↗	
水痘	0.12	0.09	↘				0.25		↘						0.33	↗	0.50	0.50													0.33		↘
手足口病																																	
伝染性紅斑		0.03	↗												0.33	↗																	
突発性発しん	0.32	0.09	↘	1.00	0.14	↘				0.50		↘	0.33		↘				0.25	0.25						0.33		↘			0.33	↗	
ヘルパンギーナ																																	
流行性耳下腺炎	0.03		↘																0.25		↘												
川崎病																																	
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*												*	*			
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*											*	*				
細菌性髄膜炎																*	*																
無菌性髄膜炎																*	*																
マイコプラズマ肺炎																*	*																
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*																
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*																

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のクロイツフェルト・ヤコブ病が秋田中央保健所管内から1人、梅毒が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から2人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-43週		44週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	12955	61	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	2729	21	
	腸チフス	1		
四類	パラチフス			
	E型肝炎	361		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	62		
	エキノコックス症	22		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	7		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	107		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-43週		44週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	156	1	
	デング熱	5		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	427		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	21		
	野兔病			
	ライム病	20		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	1732	20		
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	440	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	160	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1631	27	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	20		
	急性脳炎	278		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	148	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	526	4	
	後天性免疫不全症候群	847	1	
	ジアルジア症	29		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	157	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1094	9	
	水痘(入院例に限る)	230	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	6233	35	1
	播種性クリプトコックス症	119		
	破傷風	82		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	100		
百日咳	511	4		
風しん	10			
麻疹	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症		1759	3	

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<バンコマイシン耐性腸球菌感染症について>

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の患者報告数は、現在の届出基準となった2013年以降、年間100人未満で推移していました(図)。しかしながら、昨年は過去最多となる136人が報告されており、全国的に患者の増加が懸念されています。

■病原体

腸球菌は人や動物の腸内に常在する細菌です。本来、病原性は非常に弱いですが、手術後などで感染防御能の低下した人に菌血症や心内膜炎などを引き起こす場合があります。バンコマイシンは細菌の細胞壁合成を阻害する抗菌薬で、もともと様々な薬剤に耐性を示すことが多い腸球菌に対して極めて重要な薬剤となっています。

■対策

医療機関などでは、院内で感染が拡大しないよう対策を徹底する必要がありますが、健康な人の場合は、通常の日常生活において特別に注意する必要はありません。

国内の患者数は海外に比べると以前として少ない状況ではありますが、VREが増加すると地域の医療体制に大きな影響を及ぼす可能性があるため、今後も継続的な監視が重要です。

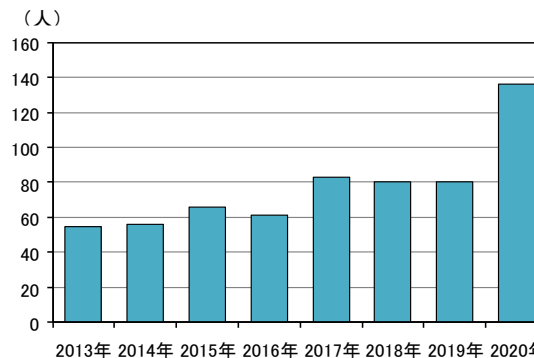


図 全国のバンコマイシン耐性腸球菌感染症の年別報告数

感染性胃腸炎の集団発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
大館市	クレイドル	11/1	5名のうち 3名	4名のうち 0名	3名	10/14 ~ 11/1	嘔吐、発熱
大館市	有浦保育園	11/1	127名のうち 15名	39名のうち 1名	16名	10/25 ~ 11/1	嘔吐、下痢、発熱



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		